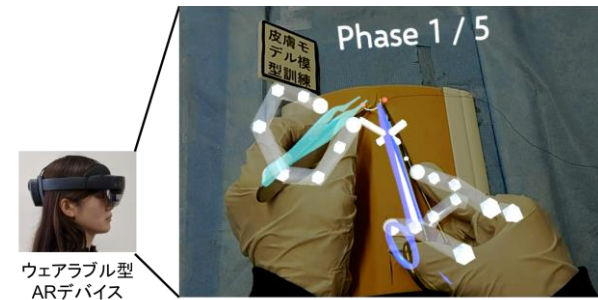


課題名

AR 技術を用いた医療手技の自主訓練支援システムの事業化検証

プロジェクトの概要

現在の医療手技訓練は、労働時間が制限され指導機会が少ない中で、医療安全を守りながら手技の技術を習得することが求められている。
本プロジェクトでは、AR技術を用いて現実空間に医療手技を三次元再現する技術を活用し、医師・医学生の手技自主訓練を支援するシステムの構築・事業化検証を行う。



ビジネスモデル(申請時)

手術を提供する病院、手技教育を行う大学医学部に対し、医師・医学生の手技の自主訓練を支援するシステムを提供することを想定している。

活動計画(申請時)

①顧客ヒアリング

医学部・病院の教育研修担当者に、手技教育の現状、課題、本システムが課題を解決するかなどについてヒアリングを行う。

②ビジネスモデルの検討

顧客ヒアリングで得られたニーズを基に、ビジネスモデルの検討を行う。

③システム改良

現場で求められるシステムの要件を調査し、その要件を満たし自主訓練効果が向上するような機能の開発を行う。